



My Town Topics

↓ゴールを目指して走りきりました



仲間の声援を背に受けて

2月2日、多目的運動広場で第8回市民マラソン大会が開催され、718人が冬空の下、健脚を競いました。各種目に学年や性別に応じて計14部門が設けられ、タイムを競い合いました。参加者は、仲間から「ガンバレ!」「もう少し!」と声援を受け、はつらつとした表情で区間を走りきり、さわやかな汗を流しました。

第8回市民マラソン大会結果

小学生の部

【男子 1.2.3年】◎佐野維飛②薬師寺信吾③橋本陽向
【男子 4.5.6年】◎岩井穂貴②大坂亮太③飯塚和仁【女子 1.2.3年】◎横田陽菜②飯高末菜実③根本彩【女子 4.5.6年】◎山崎桃歌②寺嶋美遥③吉嶺あかね【男子 駅伝】◎千代田SS.6Aチーム②霞ヶ浦サッカースポーツ少年団A③千代田サッカー少年団5年A【女子 駅伝】◎かすみがうら南J・ラビッツB②千代田ティンカーズ③穴倉スポーツ少年団バレエ部

中学生の部

【男子】◎佐賀拓実②松延拓輝③坂本壘【女子】◎鈴木琉菜②山田玲菜③寺澤未来【男子 駅伝】◎下稲吉中野球部A②スーパーボーイズ③下稲吉中野球部B【女子 駅伝】◎下中女卓B②北中女子テニスA③北中女子テニスB

一般の部

【男子】◎塩谷二郎②辻井正紀③赤池和彦【女子】◎寺前裕子②森作節子③飯島美幸【男子 駅伝】◎出島走友会A②Kankijin ドリームチーム③スペシャルオリンピックスA【女子 駅伝】◎スパークA②スパークK

※敬称略

尊い命を守るため、正しい知識と技術

2月23日、消防本部で普通救命講習会が行われ、いざという時に尊い命を守るために、救急車が到着するまでの必要な救命手当の知識やAED使用方法などを学びました。参加者から「AEDや胸骨圧迫などの実技講習を受けたことで自信がついた」などの感想があり、救命処置の重要性を再認識する機会となりました。



↑心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びました

ぬくもりあふれる癒しのひな人形

2月23日から郷土資料館季節展「かすみがうら市のひなまつり」が開催され、来館者を華やかに出迎えました。牛渡や雪入、加茂など、地区の雛人形や同館所蔵の人形約100点を展示。現代の形に継承されている古今雛など温かみが伝わってくる作品が並び、人形を通じて来館者に癒しの時間を与えてくれました。



↑忘れ去られつつ年中行事を再確認しました



い



ろ

各行政区では、一時集合場所へ集合、点呼後、集団で避難所への避難訓練を実施。メイン会場の下稲吉中学校には、513人の市民が避難訓練に参加。消防本部や消防団による要援護者の避難搬送や消火器取扱訓練、NTT東日本による災害用伝言板の体験、陸上自衛隊古河駐屯地、社会福祉協議会による炊き出しや非常食の配布



は



ほ



へ



と

Camera Report

◎災害から身を守るために

「市民体験型」防災訓練

当市でも甚大な被害が予想されている首都圏直下型地震やその他の災害に対し、市民や関係機関との連携と協力や市民の防災への理解と防災意識の高揚を目的とした「防災訓練」を2月17日に実施しました。総務課 ☎内線 1527



かすみがうら

首都圏直下型地震を想定して災害対策本部の設置や被災状況の確認、避難所の開設・運営、避難者の受け入れ、避難訓練、職員参集訓練などを内容とする「防災訓練」が下稲吉中学校をメインに、各避難所で行われ、避難訓練や参集訓練などに計1254人が参加しました。訓練は、午前9時に茨城県南部を震源とする直下型地震が発生し、市内で最大震度6強を観測。市内各所で家屋の倒壊や火災など多大な被害により多数の市民が負傷、また、電気や電話水道などのライフラインがまひしたという想定で行われました。午前9時の緊急速報メールの

受信を合図に、宮嶋市長を本部長とする災害対策本部を千代田庁舎防災センターに設置。各行政区では、一時集合場所へ集合。対策本部からの避難指示の合図で、集団で各避難所へ避難する訓練を行いました。メイン会場の下稲吉中学校には、応急救護指導や災害用伝言板の体験、災害グッズ展示ブースが設けられ、参加者が真剣な顔で防災の知識を学んでいました。講評に立った宮嶋市長は「災害発生時に、どのような行動をとるべきか普段からの意識が大切です。訓練に参加して、感じたことを災害発生時に生かしてほしい」と参加者に語りかけました。